

認知症介護家族の座談会

認知症介護家族の座談会は、認知症の人を介護している家族が集まり、日々の介護の戸惑い、悩み、喜びなど、互いの思いを分かち合う集いです。

介護をしている人の思いや体験談などを語り合い、交流しませんか。

参加をお待ちしています。

◆日時 9月19日(火)

午後1時30分～

3時まで



◆場所 黒潮町保健福祉センター

2階 健康研修室

○お問い合わせ

地域包括支援センター

☎ 43-2240

**心配いっ・困りっ、
人権・行政相談所の開催**

皆さんの相談を社会福祉協議会相談員、行政相談委員、人権啓発係などが受ける相談所を開きます。

皆さんの心の負担が少しでも軽くなればと考えています。家庭での心配ごと、地域でのめめごと、人権侵害や行政に関する相談など、ひとりで悩まず気軽に相談くだ

さい。相談の秘密は必ず守り、料金は無料です。安心してお越しください。(予約不要)

◆日時・場所

・9月15日(金)午前10時～正午
上田の口集会所

・9月15日(金)午後1時～3時
保健福祉センター(本庁前)

※午後の相談所には、行政書士もいます。

○お問い合わせ

本庁住民課人権啓発係

☎ 43-2800

精神福祉相談

精神障がい者または精神障害の疑いのある方やそのご家族に対し、精神科医師による相談を開催します。

◆日時 10月12日(木)

午後1時30分～3時30分

◆場所 高知県幡多福祉保健所

◆定員 2名

◆締切 9月28日(木)

○お申し込み・お問い合わせ

高知県幡多福祉保健所

四万十市中村山手通19

高知県幡多福祉保健所健康障害課

☎ 34-5124

参加者レポート 第45回 黒潮町 泊まり合い人権教育研修会が開催されました

7月29日(土)・30(日)徳島市国府町で、泊まり合い人権教育研修会が開催され、黒潮町から45名が参加しました。

今年で45回目となる研修会は、泊まり合いを通じて人権について学び、差別の無いまちづくりを目指して、町が毎年開催しています。研修では、フィールドワークなども交えながら学習を深めました。

今回訪れた「芝原生活文化研究所」は、地域の伝統芸能「阿波木偶箱まわし※」などを復活させるなかで、文化活動を通じて差別をなくす取り組みを行っています。

徳島県指定無形民俗文化財である阿波木偶箱まわしですが、被差別部落に住む人々の仕事として受け継がれていたため、そのことで子や孫が差別を受けることを危惧し、近年では消滅しそうになっていました。

そのような中、地元の高校生たちによる部落差別を無くそうと活動する「高校生友の会」が、地域の高齢者から聞き取りを重ねていきました。それがきっかけとなり、阿波木偶箱まわしの復活に繋がったということを知り、文化や生活、人権を守ることの大切さを感じました。

班別会では地域住民と意見交換を行い、「人との出会いと、学びがあったからこそ、生活と文化、人権が守られてきたことを再認識した。」などの意見が出され、交流を深めることができました。

黒潮町から参加したみなさんからも、生活と文化、人権を守るためには継続して取り組む必要があるとの感想が多く寄せられました。

最後の昼食は地域の「ひっかり雑炊」で、とても美味しく、もう一度、差別を無くそうと思いを新たにしながら頂きました。

※300年前から徳島で育まれている、木箱に4体の木偶を入れ、家々を門付けする、四国の体的な祝福芸



参加者のみなさん